

DX支援サービス

# エントリー手順 (IBMi)

2023年1月 初版



**NCS&A** 株式会社

Grow on with Clients, now and forever

# 1. エントリー対象

## 1-1 解析対象一覧

「DX支援サービス」の対象となるソースの種類、IBMiからのダウンロードの単位は以下の通りです。

各資材の資材構成に関しては次ページをご参照ください。

SEQ	ソース種類	ソース名	ダウンロード単位	文字コード	ファイル長	備考
1	COBOL	COBOLソース	メンバ単位	S-JIS	固定長	
2		COBOLコピー句				
3	ILE COBOL	ILE COBOLソース				
4		ILE COBOLコピー句				
5	RPG	RPGソース				
6		RPGコピー句				
7	ILE RPG	ILE RPGソース				
8		ILE RPGコピー句				
9	CL	CLソース				
10	DDS	物理ファイルのDDSソース				
11		論理ファイルのDDSソース				
12		ディスプレイファイルのDDSソース				
13		プリンタファイルのDDSソース				
14	稼働情報	オブジェクトリスト	システム単位で 1つ			6ページ参照

# 1. エントリー対象

## 1-2 分析対象外資材について

### (1) 対象外言語

1-1 解析資材一覧に記載のある言語種類以外の言語は分析対象外となります。

### (2) 重複対象外

ライブラリ間でメンバ名が重複した資産は、ライブラリ名の昇順で上の方のメンバを分析対象とします。それ以外のメンバは重複資産とし、分析対象外となります。

#### ■ 重複資産の判定基準

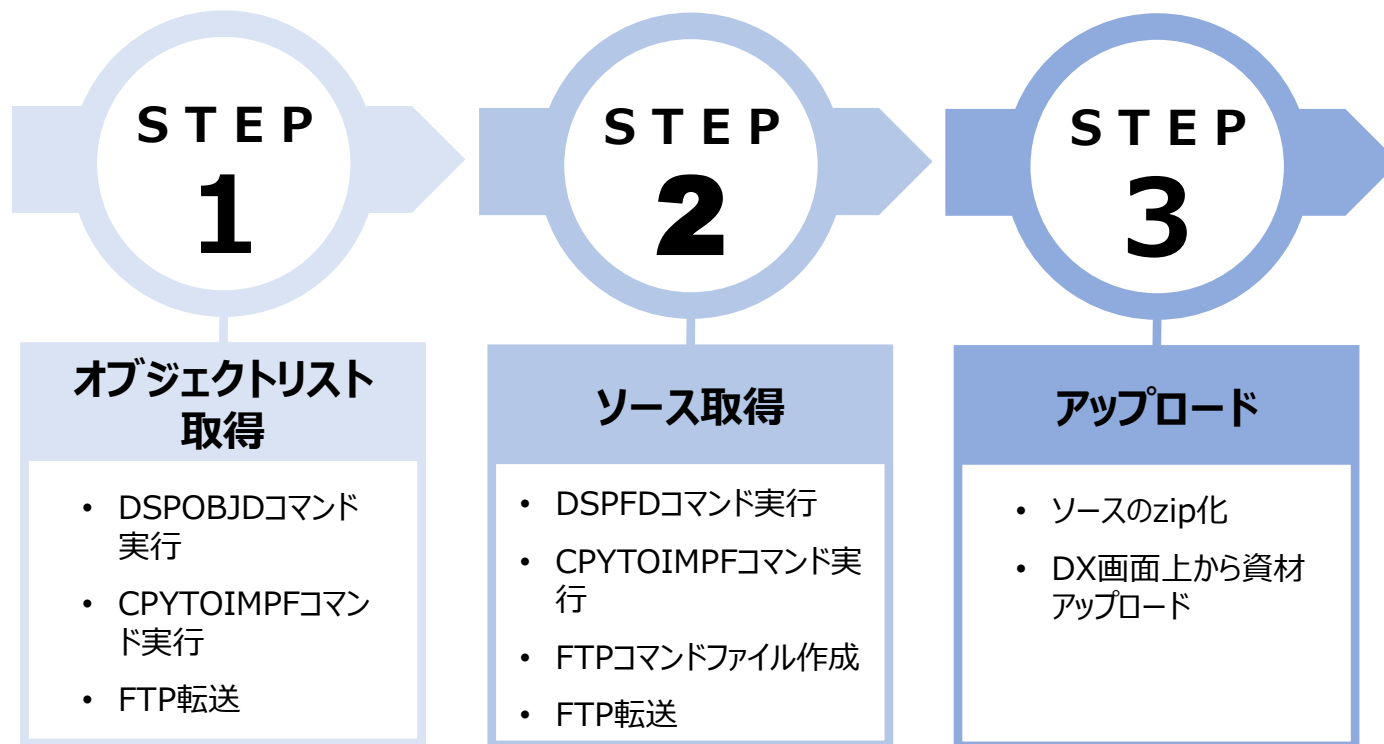
重複資産の判定基準は言語種類ごとに異なります。以下に言語種類ごとに重複資産の判定基準を記述します。

SEQ	言語種類	重複資産判定基準
1	PGM - CL - COBOL - ILECOBOL - RPG - ILERPG	別ライブラリに同メンバ名のプログラムが存在する場合。

## 2. エントリー手順

「DX支援サービス」の対象ソースは、プログラム等のソースと定義情報を**固定長のS-JIS形式**でIBMiよりダウンロードください。対象ファイルは**テキストモードで転送**をお願いします。

IBMiからのソースダウンロード、DX支援サービスへのエントリーについては以下の手順をご参考ください。（あくまでも一例となります。ソース形式が同じであれば手順の指定はございません）



エントリーソースの形式は  
**固定長のS-JIS形式**  
**テキストモード**でお願いいたします。

IBMi



転送

貴社PC



アップロード

DX支援サービス



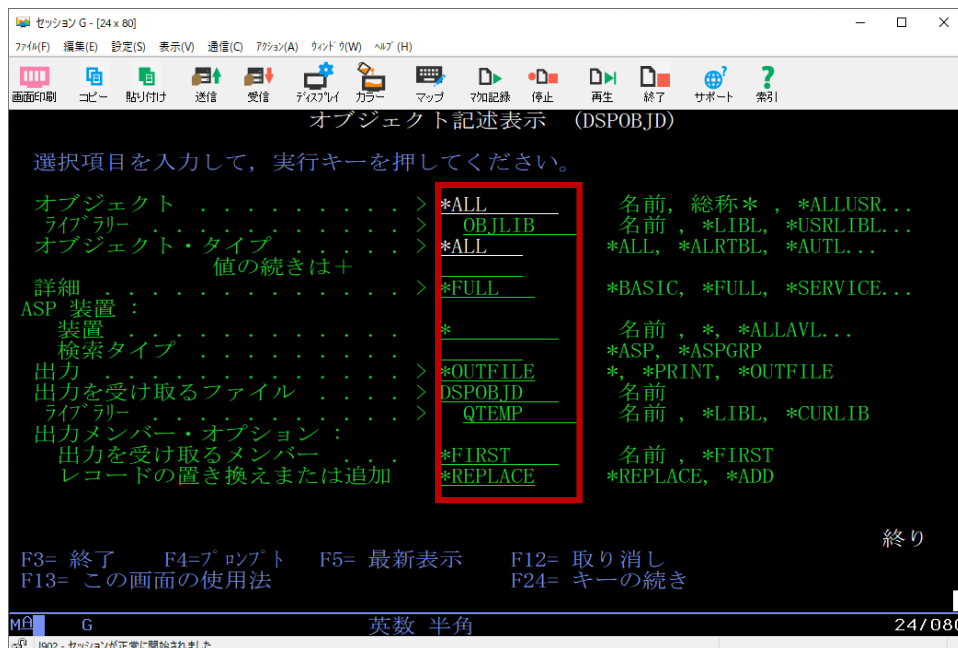
## 2. 【STEP1】オブジェクトリスト取得

### STEP1-1 DSPOBJJDコマンドの実行

メインメニューより「DSPOBJJD」コマンドをF4キーで実行し、表示された画面でF9キーを押下します。



次の画面で以下対応表を参考に情報を入力し、右 + Ctrlキーで実行します。

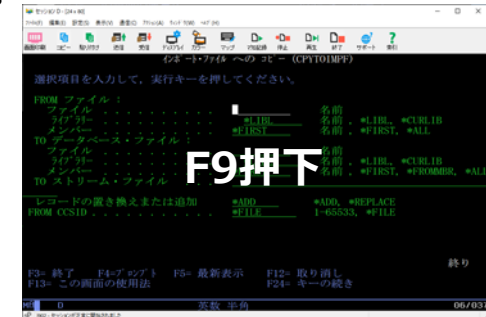
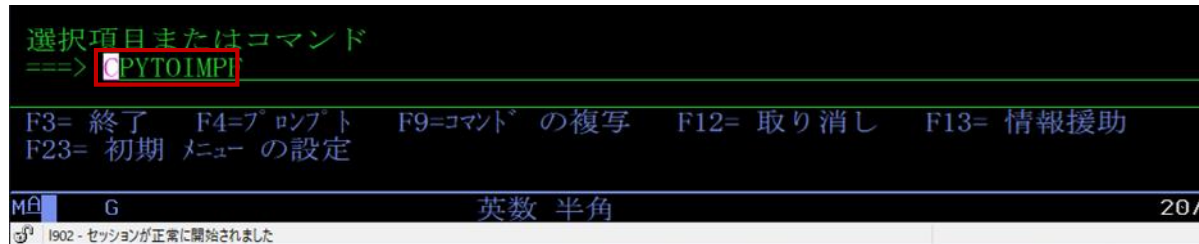


SEQ	項目	内容
1	オブジェクト	*ALL
2	ライブラリ	対象オブジェクトライブラリ
3	オブジェクト・タイプ	*ALL
4	詳細	*FULL
5	出力	*OUTFILE
6	出力を受け取るファイル	出力先ファイル名
7	ライブラリ	上記 6 のファイル出力先ライブラリ
8	出力を受け取るメンバー	*FIRST
9	レコードの置き換えまたは追加	*REPLACE

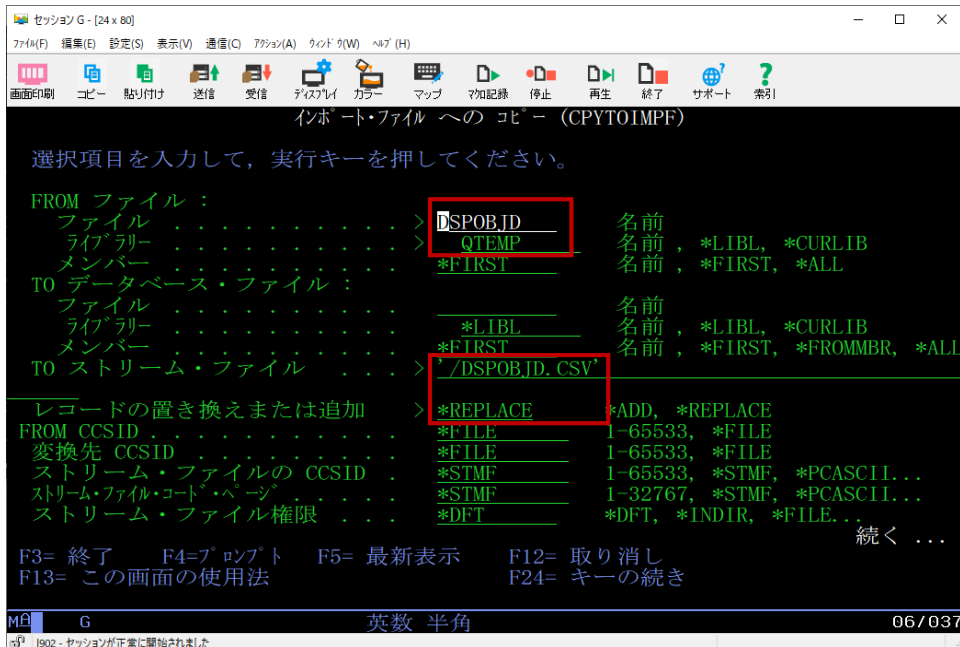
## 2. 【STEP1】オブジェクトリスト取得

### STEP1-2 CPYTOIMPFコマンドの実行

メインメニューより「CPYTOIMPF」コマンドをF4キーで実行し、表示された画面でF9キーを押下します。



次の画面で以下対応表を参考に情報を入力し、右 + Ctrlキーで実行します。



SEQ	項目	内容
1	FROMファイル：ファイル	DSPOBJDのSEQ6で指定した出力先ファイル名
2	FROMファイル：ライブラリ	DSPOBJDのSEQ7で指定した出力先ライブラリ名
3	TO ストリーム・ファイル	'/出力ファイル名.CSV'
4	レコードの置き換えまたは追加	*REPLACE

(次ページへ続く)

## 2. 【STEP1】オブジェクトリスト取得

### STEP1-2 CPYTOIMPFコマンドの実行（続き）



SEQ	項目	内容
5	レコード区切り文字	*CRLF
6	STRING区切り文字	*NONE
7	STRING・エスケープ文字	''''
8	フィールド区切り文字	*TAB

※上記以外、指定のない項目は変更不要です

### （補足）

手順STEP1-1およびSTEP1-2は以下コマンドでも取得いただけます。

#### オブジェクトリストの取得コマンド サンプル

```
DSPOBJD OBJ(対象オブジェクトライブラリ/*ALL) OBJTYPE(*ALL) DETAIL(*FULL) OUTPUT(*OUTFILE) +  
        OUTFILE(ファイル格納先ライブラリ/格納ファイル名) OUTMBR(*FIRST *REPLACE)  
CPYTOIMPF FROMFILE(ファイル格納先ライブラリ/格納ファイル名) TOSTMF('/ファイル名.CSV') +  
        MBROPT(*REPLACE) RCDDL(*CRLF) STRDLM(*NONE) STRESCCHR('') FLDDL(*TAB)
```

## 2. 【STEP1】オブジェクトリスト取得

### STEP1-3 FTP転送

コマンドプロンプトを起動し、ftpコマンドで接続するIBMiのIPアドレスを入力します。

(コマンド入力内容 : ftp [IPアドレス])

管理者: コマンドプロンプト

```
C:\Users\Administrator>ftp IPアドレス
```

接続後、ftpのgetコマンドを実行しIBMiからソースを転送します。出力先フォルダは事前に作成しておく必要があります。

(コマンド入力内容 : ftp> get [STEP1-2のSEQ3で指定したTO ストリーム・ファイル名] [PC上の出力したいパス¥ファイル名])

管理者: コマンドプロンプト

```
C:\Users\Administrator>ftp 
に接続しました。
220-QTCP AT 
220 CONNECTION WILL CLOSE IF IDLE MORE THAN 5 MINUTES.
501 OPTS UNSUCCESSFUL; SPECIFIED SUBCOMMAND NOT RECOGNIZED.
ユーザー 
331 ENTER PASSWORD.
パスワード: 
LOGGED ON
ftp> get /DSPOBJD.CSV C:\Users\Administrator\Downloads\DSPOBJD.CSV
200 PORT SUBCOMMAND REQUEST SUCCESSFUL.
150-NAMEFMT SET TO 1.
150 RETRIEVING FILE /DSPOBJD.CSV
226 FILE TRANSFER COMPLETED SUCCESSFULLY.
ftp: 63810 バイトが受信されました 0.05秒 1357.66KB/秒。
ftp> close
221 QUIT SUBCOMMAND RECEIVED.
ftp> quit
```



## 2. 【STEP1】オブジェクトリスト取得

### STEP1-3 FTP転送（続き）

以下の形式でオブジェクトリストが出力されます。

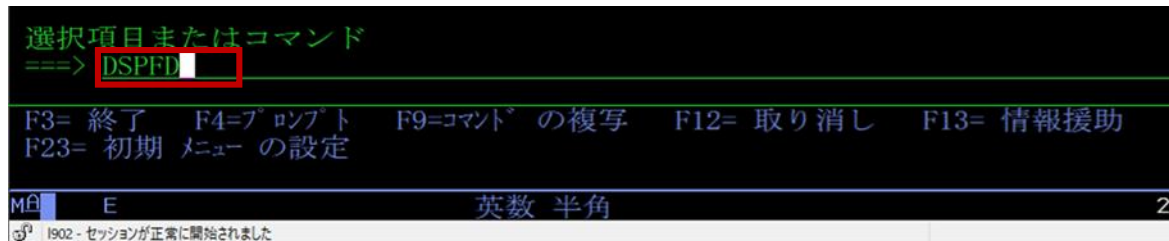
#### オブジェクトリストサンプル

1	210817	110448	CDOLIB	CDA000C	*PGM	CL	0	122880	共通プログラム
1	210817	110448	CDOLIB	CDA010C	*PGM	CL	0	143360	CDMメインメニュー
1	210817	110448	CDOLIB	CDA020C	*PGM	CL	0	61440	取引先サブメニュー
1	210817	110448	CDOLIB	CDA999C	*PGM	CL	0	155648	サンプルCDMメインメニュー
1	210817	110448	CDOLIB	CDEMSGC	*PGM	CL	0	40960	EXTメッセージ セット&除去
1	210817	110448	CDOLIB	CDK010	*PGM	RPG	0	151552	野線表示モニター
1	210817	110448	CDOLIB	CDM010	*PGM	RPG	0	126976	EXT アプリケーション・コントロール・ファイル検索
1	210817	110448	CDOLIB	CDM020	*PGM	RPG	0	126976	EXT 伝票No.ファイル検索
1	210817	110448	CDOLIB	CDM030	*PGM	RPG	0	155648	EXT 銀行マスター検索
1	210817	110448	CDOLIB	CDM040	*PGM	RPG	0	159744	EXT 組織マスター検索
1	210817	110448	CDOLIB	CDM050	*PGM	RPG	0	155648	EXT 社員マスター検索
1	210817	110448	CDOLIB	CDM060	*PGM	RPG	0	155648	EXT 取引先マスター検索
1	210817	110448	CDOLIB	CDM070	*PGM	RPG	0	159744	EXT 自治省マスター検索
1	210817	110448	CDOLIB	CDM080	*PGM	RPG	0	126976	EXT 社内銀行コード検索
1	210817	110448	CDOLIB	CDM090	*PGM	RPG	0	180224	EXT 得意先 検索
1	210817	110448	CDOLIB	CDM100	*PGM	RPG	0	200704	EXT 得意先 検索
1	210817	110448	CDOLIB	CDM110	*PGM	RPG	0	167936	EXT 出荷先 検索
1	210817	110448	CDOLIB	CDM120	*PGM	RPG	0	180224	EXT 仕入先 検索
1	210817	110448	CDOLIB	CDM130	*PGM	RPG	0	180224	EXT 仕入先 検索
1	210817	110448	CDOLIB	CDM140	*PGM	RPG	0	180224	EXT 請求先 検索
1	210817	110448	CDOLIB	CDM150	*PGM	RPG	0	180224	EXT 支払先 検索

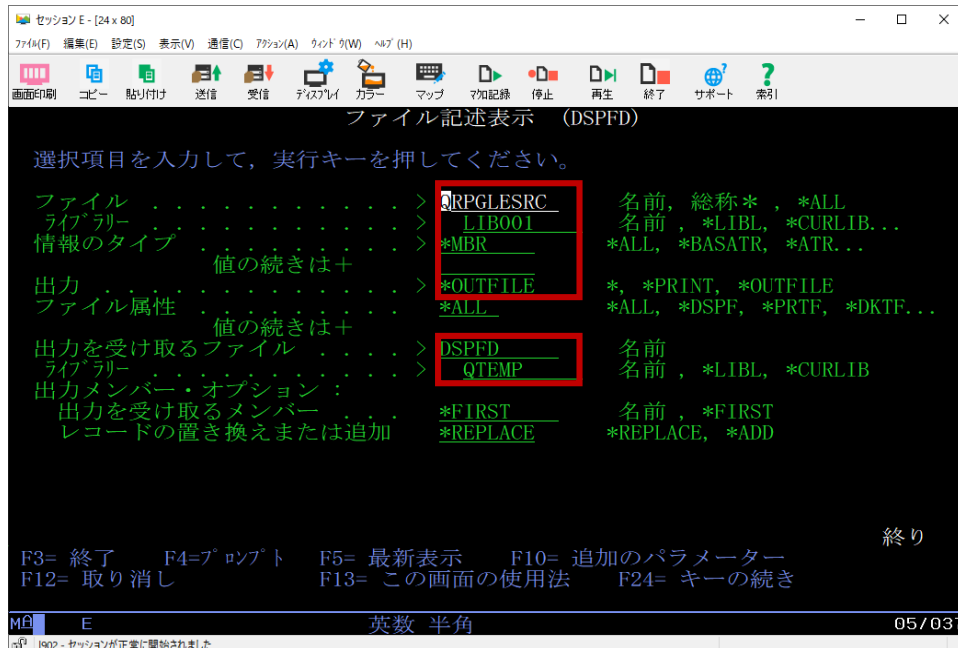
## 2. 【STEP2】ソース取得

### STEP2-1 DSPFDコマンドの実行

メインメニューより「DSPFD」コマンドをF4キーで実行し、表示された画面でF9キーを押下します。



次の画面で以下対応表を参考に情報を入力し、右 + Ctrlキーで実行します。



SEQ	項目	内容
1	ファイル	ダウンロード対象の格納ファイル名
2	ライブラリ	ダウンロード対象のオブジェクトライブラリ
3	情報のタイプ	*MBR
4	出力	*OUTFILE
5	出力を受け取るファイル	出力先ファイル名
6	ライブラリ	上記 5 のファイル格納先ライブラリ

## 2. 【STEP2】ソース取得

### STEP2-2 CPYTOIMPFコマンドの実行

メインメニューより「CPYTOIMPF」コマンドをF4キーで実行します。

手順STEP1-2および手順STEP1-3と同様の手順でDSPFDリストをcsvで出力します。

**DSPFDリストサンプル（出力したcsvを区切り位置をタブ区切りに設定）**

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	1	230125	152021	QRPGLES	LIB001	P	*PHY		PF	NCSA01	1		S	
2	1	230125	152021	QRPGLES	LIB001	P	*PHY		PF	NCSA01	1		S	
3	1	230125	152021	QRPGLES	LIB001	P	*PHY		PF	NCSA01	1		S	
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														

## 2. 【STEP2】ソース取得

### STEP2-3 FTPコマンドファイル作成

手順STEP2-2で出力したcsvの、**D列・E列・AF列**よりftpコマンドファイルを作成します。

ダウンロードするファイルをファイル単位にgetコマンドを記述します。また**出力先フォルダは事前に作成**しておく必要があります。

(getコマンド内容 : get [格納ライブラリ名/格納ファイル名.メンバ名] [PC上の出力したいパス¥ファイル名])

#### FTPコマンドファイルサンプル

```
1 OPEN IPアドレス
2 ユーザID
3
4 QUOTE TYPE C 943
5
6 get LIB001/QRPGLESRC.MN010E C:¥DOWNLOAD¥RPGLEY¥MN010E
7 get LIB001/QRPGLESRC.MN011E C:¥DOWNLOAD¥RPGLEY¥MN011E
8 get LIB001/QRPGLESRC.MN012E C:¥DOWNLOAD¥RPGLEY¥MN012E
9
10 CLOSE
11 QUIT
```

	D	E	AF
1	QRPGLES	LIB001	MN010E
2	QRPGLES	LIB001	MN011E
3	QRPGLES	LIB001	MN012E

列	項目
D	格納ファイル名
E	格納ライブラリ名
AF	メンバ名

### STEP2-4 FTP転送

手順STEP2-3で作成したFTPコマンドファイルをFTPコマンドで実行します。(以下はバッチファイルを作成し実行した例となります)

```
1 @ECHO OFF
2
3 SET FTPCOMMAND1= FTPコマンドファイルのパス
4
5 FTP -i -s:%FTPCOMMAND1%
6
7 EXIT 0
```

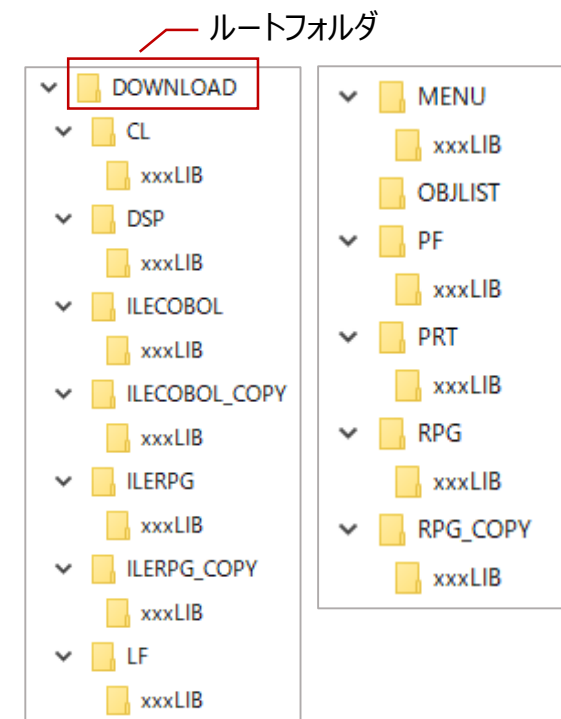
## 2. 【STEP 3】アップロード

### STEP3-1 ソースのzip化

手順STEP1およびSTEP2で取得したソースを以下のフォルダ構成の通りにファイルの配置をお願いいたします。

標準的なソース・タイプの場合の対応する言語種別は以下の通りです。**資材が格納されたフォルダ名と同じ言語種別として解析**するため上記にない、独自のタイプを使用している場合は、お客様に対応する言語種別を決めて頂く必要があります。その後、資材構成の**ルートフォルダをzipファイル**でご準備ください。

SEQ	ソース・タイプ (標準的なタイプの例)	言語種別	資材構成
1	COBOL	COBOLソース	¥COBOL¥ライブラリ名
2		COBOLコピー句	¥COBOL_COPY¥ライブラリ名
3	CBLLE	ILE COBOLソース	¥ILECOBOL¥ライブラリ名
4		ILE COBOLコピー句	¥ILECOBOL_COPY¥ライブラリ名
5	RPG	RPGソース	¥RPG¥ライブラリ名
6		RPGコピー句	¥RPG_COPY¥ライブラリ名
7	RPGLE	ILE RPGソース	¥ILERPG¥ライブラリ名
8		ILE RPGコピー句	¥ILERPG_COPY¥ライブラリ名
9	CLP、CLLE 等	CLソース	¥CL¥ライブラリ名
10	PF	物理ファイルのDDSソース	¥PF¥ライブラリ名
11	LF	論理ファイルのDDSソース	¥LF¥ライブラリ名
12	DSPF、MENUDDS	ディスプレイファイルのDDSソース	¥DSP¥ライブラリ名
13	PRTF	プリンタファイルのDDSソース	¥PRT¥ライブラリ名
14	MENUCMD	MENU	¥MENU¥ライブラリ名
15	稼働情報	オブジェクトリスト	¥OBJLIST



#### 例

ライブラリ「AAALIB」のCLソース「CL001」の配置は以下となります。  
DOWNLOAD¥CL¥AAALIB¥CL001



1 度にアップロードできるファイルは最大200MBまでとなります。  
それより大きい場合は分割してアップロードをお願いいたします。

## 2. 【STEP 3】アップロード

### STEP3-2 資材アップロード

手順STEP3-1で作成したzipファイルをDX支援サービス画面よりアップロードします。

**資産登録**

ファイル名

ファイルを選択してください



アップロード

以上で資材のエントリーは完了です。